

平成27年度 第8回大阪湾生き物一斉調査について

1. 調査概要

平成27年度は、5月30日を中心に、大阪湾沿岸域の23地点と大阪湾内（スナメリ調査）において、1,227名が参加して、第8回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。

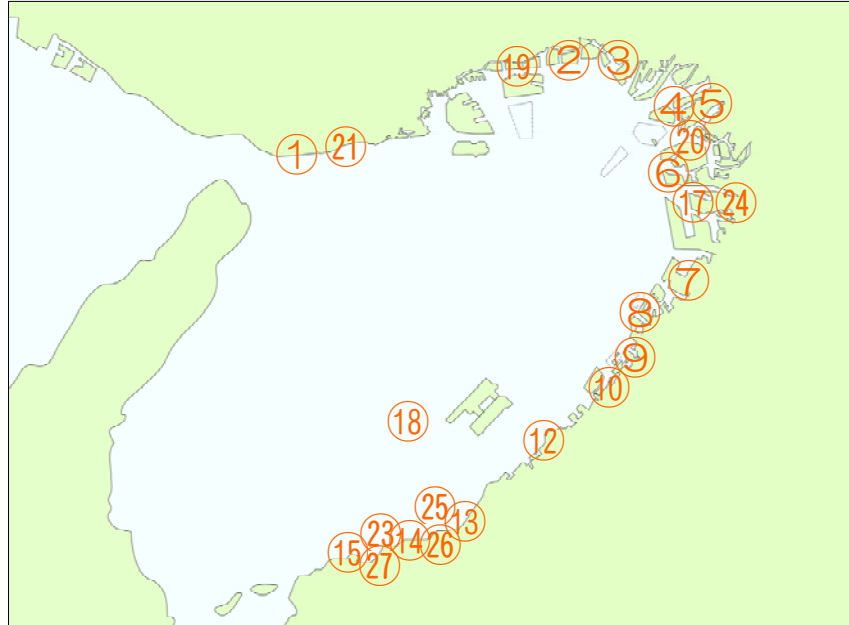


図1 平成27年度の調査地点一覧

【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア[5/31]
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/6]
19 住吉川河口	豊かな森川海を育てる会[5/16]
2 香櫨園浜	西宮市貝類館[5/30]
3 甲子園浜	なにわこどもエコクラブ[5/30]
	NPO法人 海浜の自然環境を守る会[6/13]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
7 高師浜	浜寺公園自然の会[5/31]
8 大津川河口（左岸）	きしわだ自然資料館[5/30]
9 阪南二区造成干潟	きしわだ自然資料館[5/31]
10 近木川河口	貝塚市立自然遊学館[5/31]
	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科[6/4]
12 櫻井川河口・岡田浦海岸	男里川干潟を守る会[6/7]
13 樽井海岸・男里川河口干潟	男里川干潟を守る会
	きしわだ自然資料館[6/4]
25 尾崎海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [6/13]
26 波有手海岸	NPO法人 環境教育技術振興会、フロロシス[5/15]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会[5/16]
23 長松海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (自然環境市民大学) [6/17]
15 東川（落合川）河口	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [5/30]
18 大阪湾広域[スナメリ調査]	海遊館、大阪ECO動物海洋専門学校 [5/27, 5/30]
27 深日漁港干潟	岬中学校科学部[5/30]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 矢倉海岸	西淀自然文化協会[5/30]
5 十三干潟（淀川）	(公社)大阪自然環境保全協会 (淀川自然観察会) [5/31]
20 天保山	海遊館[6/6]
6 野鳥園臨港緑地（大阪南港野鳥園）	NPO法人 南港ウェットランドグループ[6/14]
17 堺2区生物共生型護岸（友海ビーチ）	(公社)大阪自然環境保全協会 (堺2区自然観察会) NPO法人 釣り文化協会[5/31]
24 堺浜自然再生 ふれあいビーチ	(公社)大阪自然環境保全協会 (堺2区自然観察会) [5/31]

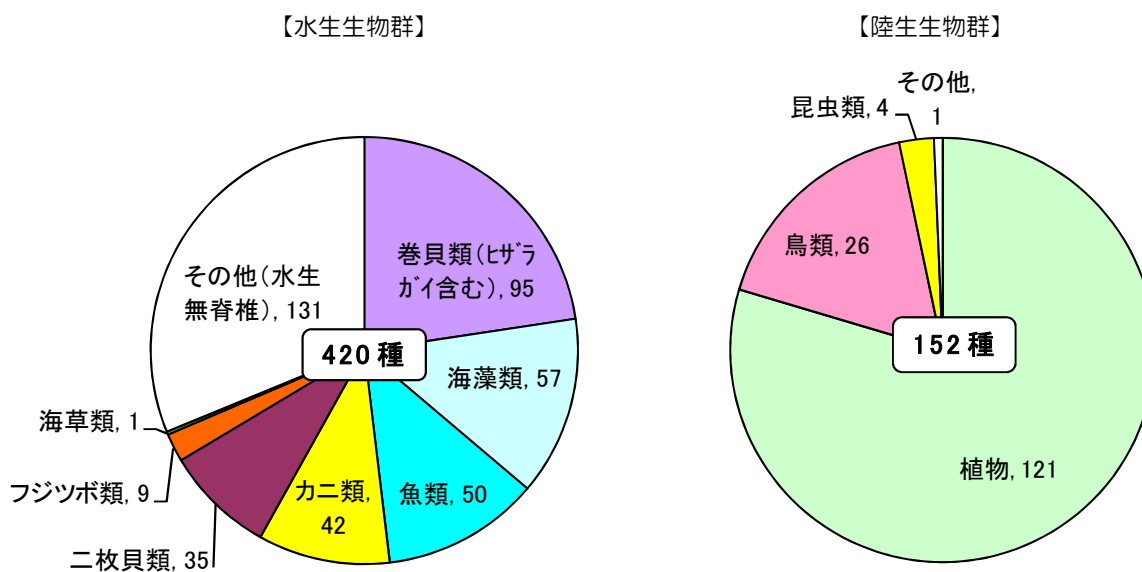
2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表 1 に示しました。

種名まで判別した種類は 572 種（うち、リスト掲載種 42 種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が 58 種、動物は貝類が 130 種（巻貝 95 種、二枚貝 35 種）、魚類が 50 種、カニ類が 42 種等でした。また、陸生生物群では、鳥類が 26 種、陸上植物が 121 種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各 RDB と環境省のレッドリスト（2012 年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては 99 種類（属含む）が該当しました。このうち、海藻類はスジアオノリ、タニコケモドキ等の 3 種、動物では、貝類がイボウミニナ、ウミニナ、タケノコカワニナ、ミヤコドリガイ、オウギウロコガイ、ナミガイ等の 43 種、多毛類がスゴカイイソメ等の 6 種、カニ類はアカテガニ、チゴイワガニ、フジテガニ等の 18 種、魚類はアユ、ヒモハゼ等の 6 種、その他はスジホシムシ、クルマエビ、ヒガシナメクジウオ等の 16 種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊椎動物を含む。

図2 平成 27 年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名		
海藻類	緑藻類	1	アオサ属(アオサ型)	植物(続き)	14	イヌムギ	
		2	アオサ属(アオリ型)		15	ウシオハナツメクサ	
		3	アナアオサ		16	ウチワサボテン類	
		4	ウスバアオリ		17	ウラギク	
		5	シオグサ属		18	エノキ	
		6	ジュズモ属		19	オオアレチノギク	
		7	スジアオリ		20	オオイヌタデ	
		8	ヒメアオリ		21	オオオナモミ	
		9	ヒメアオリ属		22	オオジシバリ	
		10	ヒラアオリ		23	オオシマザクラ	
		11	ホソジュズモ		24	オオブタクサ	
		12	ホソヒメアオリ		25	オカヒジキ	
		13	ボタンアオサ		26	オシロイバナ	
		14	マキヒトエ		27	オニグルミ	
		15	ミル		28	オニシバ	
	褐藻類	16	アカモク		29	カタバミ	
		17	アミジグサ		30	カナムグラ	
		18	ウミウチワ		31	カモジグサ	
		19	ウミトラノオ		32	カラスノエンドウ	
		20	コモンクサ		33	カラスムギ	
		21	シダモク		34	ギシギシ	
		22	シワノカワ		35	キシウブ	
		23	セイヨウハバノリ		36	ギョウギシバ	
		24	タマハハキモク		37	クコ	
		25	ヒジキ		38	クズ	
		26	フクロノリ		39	クスノキ	
		27	ヘラヤハズ		40	クソニンジン	
		28	ホンダワラ類		41	クロマツ	
		29	ヤハズグサ		42	コウボウシバ	
		30	ヨレモクモドキ		43	コウボウムギ	
		31	ワカメ		44	コセンダングサ	
		紅藻類	32		アマノリ属	45	コバンソウ
			33		イソダンツウ	46	コマツヨイグサ
			34		イトグサ属	47	コマツブウマゴヤシ
			35		イワノカワ科	48	シオクグ
			36		エチゴカニノテ	49	シバ
	37		オオバツノマタ		50	シャリンバイ	
	38		オキツノリ		51	シロザ	
	39		オゴノリ		52	シロバナシナガワハギ	
	40		オゴノリ属		53	シロバナマンテマ	
	41		オバクサ		54	スズメノチャヒキ	
	42		カイノリ		55	セイタカアワダチソウ	
	43		カニノテ属		56	セイバンモロコシ	
	44		カハノリ		57	セイヨウカラシナ	
	45		キヌイトフタツガサネ		58	セイヨウタンポポ	
	46		キョウノヒモ		59	センダン	
	47		ケイギス		60	タガラシ	
	48		コメノリ		61	ダンチク	
	49		シラモ		62	チガヤ	
	50		ススカケベニ		63	ツクミマンテマ	
	51		タオヤギソウ		64	ツユクサ	
	52		タニコケモドキ		65	ツルナ	
	53		ツノマタ		66	ツルヨシ	
	54		ツノマタ属		67	テリハノイバラ	
	55		ツルシラモ		68	トウネズミモチ	
	56		ツルツル		69	トゲチシャ	
	57		トサカマツ		70	トベラ	
	58		ヒメテングサ		71	ナガエツルノゲイトウ	
	59		ビリヒバ		72	ナガバギシギシ	
	60		フクロフノリ		73	ナガミヒナゲシ	
	61		フシツナギ		74	ナギナタガヤ	
	62		フダラク		75	ナルトサワギク	
	63		ベニスナゴ		76	ナンキンハゼ	
	64		ホソアヤギヌ		77	ニワウルシ	
	65		マクサ		78	ヌカススキ	
	66		マツノリ		79	ネズミホソムギ	
	67		ミツデソソ		80	ネズミムギ	
	68		ムカデノリ		81	ノイバラ	
	69		ヨツガサネ		82	ノゲシ	
	70		無節サンゴモ類		83	ノブドウ	
海藻類	1		アマモ		84	ノボロギク	
	植物	1	アオツツラフジ		85	ノミハツツリ	
		2	アカバナユウゲショウ		86	ノラニンジン	
		3	アキニレ		87	ハマアザミ	
		4	アキノキリンソウ		88	ハマウド	
		5	アキノゲシ		89	ハマエンドウ	
		6	アメリカネナシカズラ		90	ハマオモト	
		7	アレチウリ		91	ハマゴウ	
		8	アレチギシギシ		92	ハマサジ	
		9	アレチヌスビトハギ				
		10	アレチノギク				
		11	イソギク				
		12	イヌコモチナデシコ				
13		イヌタデ属					

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	
植物(続き)	93	ハマスケ	
	94	ハマダイコン	
	95	ハマナス	
	96	ハマナデシコ	
	97	ハマニンニク	
	98	ハマビシ	
	99	ハマヒルガオ	
	100	ハマボウ	
	101	ハマボウフウ	
	102	ハマボス	
	103	ハママツナ	
	104	ヒメジョオン	
	105	ヒメムカシヨモギ	
	106	ヘクソカズラ	
	107	ヘラオオハコ	
	108	ポーチュラカ	
	109	ホコガタアカザ	
	110	ホソバハマアカザ	
	111	ホソムギ	
	112	マサキ	
	113	マメグンバイナズナ	
	114	マンテマ	
	115	ムクノキ	
116	メドハギ		
117	メマツヨイグサ		
118	メリケンムグラ		
119	ヤエムグラ		
120	ヤマアワ		
121	ヨシ		
122	ヨモギ		
123	ランタナ		
貝類	ヒザラガイ類	1	ウスヒザラガイ
		2	ケハダヒザラガイ
		3	サメハダヒザラガイ
		4	ハバガセ
		5	ヒザラガイ
		6	ヒメケハダヒザラガイ
		7	ヤスリヒザラガイ
	巻き貝類	8	Melanochlamys属
		9	Turbonilla属
		10	アオガイ
		11	アオガイ類
		12	アカエラミノウミウシ
		13	アカニシ
		14	アシヤガイ
		15	アダムスタマガイ
		16	アマクサアメフラシ
		17	アメフラシ
		18	アラムシロガイ
		19	アラレタマキビガイ
		20	イシダタミガイ
		21	イシマキガイ
		22	イズミドリガイ
		23	イズミミノウミウシ
		24	イナザワハベガイ
		25	イバラウミウシ
		26	イボウミナ
		27	イボニシ
		28	ウスコミミガイ
		29	ウノアシガイ
		30	ウミナ
		31	ウミフクロウ
		32	エドガワミズゴマツボ
		33	エビスガイ
		34	オオヘビガイ
		35	オーロラクチキレガイ
		36	オトメガサ
		37	カキウラクチキレモドキ
		38	カゴメガイ
		39	カスリアオガイ
		40	カラマツガイ
		41	カワザンショウガイ
		42	ククノハナガイ
		43	キセワタガイ
		44	キヌボラ
		45	キリオレガイ
		46	クサイロアオガイ
		47	クサズリクチキレガイ
		48	クチキレガイ
		49	クビレクワツケガイ
		50	クボガイ
		51	クモリアオガイ
		52	クワイロカワザンショウ
		53	クワイロカワザンショウ属
		54	クロコデウミウシ

分類群	No.	和名		
貝類(続き)	巻き貝類(続き)	55	クロツケガイ	
		56	クロドリガイ	
		57	コウダカアオガイ	
		58	コシダカガンガラ	
		59	コネコウミウシ	
		60	コビトウラズガイ	
		61	コベルトカニモリ	
		62	コメツブガイ	
		63	コモレピコガモガイ	
		64	サザエ	
		65	サツマクリイロカワザンショウ	
		66	シマメノウネガイ	
		67	シラギクガイ	
		68	スオウクチキレガイ	
		69	スガイ	
		70	スカシガイ	
		71	ダイダイウミウシ	
		72	タケノコカワニナ	
		73	タマキビガイ	
		74	チグサガイ	
		75	チビシヤヅク	
		76	ツメタガイ	
		77	ハブタエブドウガイ	
		78	ヒナユキズメ	
		79	ヒメコザラガイ	
		80	ヒモイカリナマコツマミガイ	
		81	フシエラガイ科	
		82	ブドウガイ	
		83	フトヘナタリ	
		84	フレイトケアメフラシ	
		85	ベッコウガサガイ	
		86	ホソアラレクチキレガイ	
		87	ホソウミナ	
		88	ホソスジアオガイ	
		89	マダラウミウシ	
		90	マツバガイ	
		91	マルウズラタマキビガイ	
		92	ミノウミウシ	
		93	ミヤコドリガイ	
		94	ムギガイ	
		95	ヤマトウミウシ	
		96	ヨコイトカケギリ	
		97	ヨコイトカケギリダマシ	
		98	ヨコスジギリ	
		99	ヨメガカサガイ	
		100	レイシガイ	
		二枚貝類	101	アサリ
			102	イシマテガイ
			103	イワガキ
			104	ウスカラシオツガイ
			105	ウスユキミノガイ
			106	ウネナシトマヤガイ
			107	オウギウロコガイ
			108	オハグロガキ属
			109	カガミガイ
			110	カリガネエガイ
			111	キヌマトイガイ
			112	クチバガイ
			113	ケガキ
			114	コウロエンカワヒバリガイ
			115	サルボウガイ
			116	セミアサリ
			117	ソトオリガイ
			118	トマヤガイ
			119	ナミガイ
			120	ナミマガシワガイ
			121	ニッポンマアゲマキガイ
			122	ネズミノテ
			123	ハカガイ
			124	ヒバリガイ
			125	ヒメアサリ
			126	ヒメカノアサリ
			127	ヒメシラトリガイ
			128	ホトギスガイ
			129	マガキ
			130	マツカゼガイ
			131	マテガイ
			132	マテガイ科
			133	ミノガイ
			134	ミミエガイ
			135	ムラサキイガイ
			136	ヤマトシジミ
			137	ユウシオガイ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
多毛類	1	Hydroides属	カニ類(続き)	4	イソガニ
	2	Lepidonotus属		5	イッカクモガニ
	3	Perinereis属		6	イボイチョウガニ
	4	アシナガゴカイ		7	オウギガニ
	5	イバラカンザシ属		8	オオシロビンノ
	6	ウズマキゴカイ		9	オサガニ
	7	ウズマキゴカイ科		10	カクベンケイガニ
	8	ウミケムシ		11	カクレガニ亜科
	9	ウロコムシ科		12	ガザミ
	10	エゾカサネカンザシゴカイ		13	カネココブシ
	11	オイワケゴカイ		14	クロベンケイガニ
	12	カワゴカイ属		15	ケフサイソガニ
	13	カンザシゴカイ科		16	コメツキガニ
	14	クマノアシツキ		17	シオマネキ
	15	ゴカイ科		18	ショウジンガニ
	16	コケゴカイ		19	シワオウギガニ
	17	サシバゴカイ科		20	スナガニ
	18	サドリサシバ		21	スナガニ類
	19	サンハチウロコムシ		22	スネナガイソガニ
	20	シライトゴカイ		23	スベスベオウギガニ
	21	シロガネゴカイ科		24	タイワンガザミ
	22	スゴカイソメ		25	タカノケフサイソガニ
	23	スナイソゴカイ		26	チゴイワガニ
	24	タマシキゴカイ		27	チチュウカイミドリガニ
	25	チロリ科		28	トガリオウギガニ
	26	ツルヒゲゴカイ		29	ハクセンシオマネキ
	27	フサゴカイ科		30	ハマガニ
	28	マキントシチロリ		31	ヒメアカイソガニ
	29	マサゴゴカイ		32	ヒメアシハラガニ
	30	マダラウロコムシ		33	ヒメケフカガニ
	31	ミズヒキゴカイ		34	ヒメベンケイガニ
	32	ミズヒキゴカイ科		35	ヒライソガニ
	33	ヤチウロコムシ		36	ヒライソガニ属
	34	ヤッコカンザシ		37	フクイカムリ
	35	多毛類		38	フジテガニ
ヨコエビ・ワレカラ類	1	Monocorophium属	39	フタバカクガニ	
	2	アリアケドロクダムシ	40	フタバベニツケガニ	
	3	ウミモワレカラ	41	マメコブシガニ	
	4	オオサカドロソコエビ	42	モクズガニ	
	5	オオゼキモクズ	43	ヤマトオサガニ	
	6	オオワレカラ	44	ヤワラガニ	
	7	カマキリヨコエビ属	45	ヨツハマガニ	
	8	クビナガワレカラ	1	アイナメ	
	9	シミズメリタヨコエビ	2	アカエイ	
	10	トゲワレカラ	3	アサヒアナハゼ	
	11	トンガリドロクダムシ	4	アナハゼ	
	12	ニッポンモバヨコエビ	5	アベハゼ	
	13	ニホンドロソコエビ	6	アミメハギ	
	14	ハマトビムシ科	7	アヤアナハゼ	
	15	ヒゲツノメリタヨコエビ	8	アユ	
	16	ヒゲナガヨコエビ属	9	イシガレイ	
	17	ヒメハマトビムシ	10	イダテンギンボ	
	18	フサゲモクズ	11	ウミタナゴ属	
	19	フトメリタヨコエビ	12	ウロハゼ	
	20	ボッシュットゲオヨコエビ	13	オオカズナギ	
	21	マルエラワレカラ	14	カサゴ	
	22	モズミヨコエビ	15	ガンテンイシヨウジ	
	23	ヨコエビ類	16	キチヌ	
	24	ワレカラ属	17	キュウセン	
フジツボ類	1	アメリカフジツボ	18	ギンボ	
	2	イワフジツボ	19	クサフグ	
	3	カメノテ	20	クジメ	
	4	クロフジツボ	21	クロウシノシタ	
	5	サンカクフジツボ	22	クロダイ	
	6	シロスジフジツボ	23	コモンフグ	
	7	タテジマフジツボ	24	ゴンズイ	
	8	ドロフジツボ	25	シマイサキ	
	9	フジツボ類	26	シマイサキ科	
	10	ヨーロッパフジツボ	27	シロメバル	
ヤドカリ類	1	イクビホンヤドカリ	28	スジハゼ	
	2	イザナミツノヤドカリ	29	スズキ	
	3	イソカナダマン	30	スズメダイ	
	4	クアシンホンヤドカリ	31	ダイナンギンボ	
	5	ケブカヒメヨコバサミ	32	タケギンボ	
	6	コブカナダマン	33	タケノコメバル	
	7	コブヨコバサミ	34	チチブ	
	8	テナガツノヤドカリ	35	トビハゼ	
	9	ヒラトゲガニ	36	ドロメ	
	10	フトウデネジレカナダマン	37	ナベカ	
	11	ホンヤドカリ	38	ニシキギンボ属	
	12	ユビナガホンヤドカリ	39	ニホンウナギ	
	13	ヨモギホンヤドカリ			
カニ類	1	アカテガニ			
	2	アシハラガニ			
	3	イソガニ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	
魚類(続き)	40	ネズボ科	
	41	ヒイラギ	
	42	ヒモハゼ	
	43	ヒモハゼ	
	44	ヒラメ	
	45	フグ科	
	46	ヘダイ	
	47	ホウボウ科	
	48	ボラ	
	49	ボラ科	
	50	ホンペラ	
	51	マコガレイ	
	52	マダイ	
	53	マハゼ	
	54	ミズハゼ属	
	55	ムズシガジ	
	56	ムラソビ	
	57	メジナ	
	58	メナダ属	
	59	メバル属	
	60	ヨウジウオ	
	爬虫類	1	ミシシippアカミガメ
	昆虫類	1	アバタウミベハネカクシ
		2	ウミベアカバハネカクシ
		3	トノサマバッタ
		4	トビムシ類(昆虫)
		5	ヨツボシミスギワゴミムシ
	鳥類	1	アオサギ
		2	イソシギ
		3	イソヒヨドリ
		4	ウグイス
5		ウミネコ	
6		オオヨシキリ	
7		カワウ	
8		カワラヒワ	
9		コアジサシ	
10		ゴイサギ	
11		コサギ	
12		シジュウカラ	
13		スズメ	
14		セキレイ属	
15		セグロセキレイ	
16		セッカ	
17		ダイサギ	
18		チョウゲンボウ	
19		ツバメ	
20		トビ	
21		ハクセキレイ	
22		ハシブトガラス	
23		ハシボソガラス	
24		ヒヨドリ	
25		ホオジロ	
26		ミサゴ	
27		ムクドリ	
その他	カイメン類	1	Halichondria sitiens
		2	イソカイメン科
		3	カワナンカイメン属
		4	クロイソカイメン
		5	石灰海綿綱
		6	ダイダイイソカイメン
		7	ナミイソカイメン
		8	普通海綿綱
	クラゲ類	9	アカクラゲ
		10	アサガオクラゲ科
		11	カギノテクラゲ
		12	カミクラゲ
		13	ミズクラゲ
	イソギンチャク類	14	イソギンチャク類
		15	カニイソギンチャク
		16	タテジマイソギンチャク
		17	ヒメイソギンチャク
		18	ベリルイソギンチャク
		19	ヨロイイソギンチャク
		20	ヨロイイソギンチャク属
		21	カフトクラゲ
	有櫛類	22	ウズムシ類
		23	ウスヒラムシ
		24	オオツヒラムシ
		25	チリメンヒラムシ
		26	ツヒラムシ
		27	ミヒラムシ
		28	シャミセンガイ属
	腕足類	29	アミコケムシ科
		30	サラコケムシ科
		31	チゴケムシ

分類群	No.	和名	
その他(続き)	コケムシ類(続き)	32	ハナザラコケムシ
		33	ワサコケムシ
	頭足類	34	コウイカ
		35	ヒメイカ
		36	マダコ
	ホシムシ類	37	サメハダホシムシ
		38	スジホシムシ
		39	スジホシムシモドキ
	ユムシ類	40	ユムシ類
	貧毛類	41	イソミズ
		42	ミズ類
	ヒル類	43	ヒダビル
	ウミグモ類	44	ウミグモ綱
		45	シマウミグモ
	貝形虫類	46	ウミホタル
	フクロムシ類	47	ウンモンフクロムシ
	コノハエビ類	48	コノハエビ
	等脚類	49	イソコツブムシ属
		50	イソヘラムシ
		51	ウミズムシ
		52	ニホンコツブムシ
		53	フナムシ
		54	ヨツバコツブムシ
		55	キスイタナイス種群
	タナイス類	56	アシナガスジエビ
		57	イソテッポウエビ種群
		58	イソモエビ
		59	ウリタエビジャコ
		60	エビジャコ属
		61	クルマエビ
		62	スジエビモドキ
		63	スジエビ属
		64	セジロムラサキエビ
		65	テッポウエビ
		66	テッポウエビ属
		67	テナガエビ
		68	テナガエビ科
	69	ムラサキエビ属	
	70	ユビナガスジエビ	
	71	ヨシエビ	
	アナジャコ類	72	アナジャコ属
		73	ニホンスナモグリ
		74	ハサミシャコエビ
		75	ハルマンスナモグリ
		76	ヨコヤアナジャコ
	ウミシダ類	77	ニッポンウミシダ
	ヒトデ類	78	イトマキヒトデ
		79	キヒトデ
		80	チビイトマキヒトデ
		81	トゲイトマキヒトデ
		82	トゲモミジガイ
		83	ヌノメイトマキヒトデ
		84	ヤツデヒトデ
		85	Ophiactis属
	クモヒトデ類	86	クシノハクモヒトデ
		87	ナガトゲクモヒトデ
		88	ニホンクモヒトデ
	ウニ類	89	サンショウウニ
		90	ハスノハカシパン
		91	バフンウニ
		92	ムラサキウニ
	ナマコ類	93	イカリナマコ科
		94	イシコ
		95	ヒモイカリナマコ
		96	フトゲイカリナマコ近似種
		97	マナマコ
	ホヤ類	98	イタボヤ科
		99	エボヤ
		100	シロウスボヤ
		101	シロボヤ
		102	ナツメボヤ属
		103	フタスジボヤ
		104	マンジュウボヤ
		105	マンハタンボヤ
		106	ミハエルボヤ
		107	ユウレイボヤ属
		108	ヒガシナメクジウオ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

3-1. 平成 27 年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成 27 年度）

分類群	No.	和名/地点	地点No.																											合計
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	17	19	20	21	23	24	25	26	27					
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ	●	●	●			●			●	●		●	●		●			●	●		●	●	●	14				
		2 スジアオノリ				●						●	●		●	●									●	●	7			
	紅藻類	3 オゴノリ						●			●	●		●	●								●	●	●	7				
植物	1 オカヒジキ			●				●		●	●															4				
	2 コウボウムギ	●		●							●									●						4				
	3 ハマウド				●																●					3				
	4 ハマゴウ	●	●	●							●	●								●						7				
	5 ハマダイコン	●	●	●							●	●			●					●	●					10				
	6 ハマボウフウ	●	●	●				●			●	●								●						8				
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキビガイ	●	●	●			●	●		●	●	●		●	●		●			●	●	●	●	●	14				
		2 イシマキガイ		●	●	●	●				●	●	●	●		●	●		●				●	●	●	●	10			
		3 イボニシ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	18			
		4 タマキビガイ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●			●	●	15			
		5 フレリトゲアメフラシ																						●			1			
	二枚貝類	6 アサリ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	17			
		7 ウスカラシオツガイ		●	●				●			●	●	●	●	●	●										3			
		8 ウネナシトマヤガイ	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●										8			
		9 ケチバガイ	●					●	●	●		●	●	●	●	●	●									●	8			
		10 ケガキ	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●			●	●	●	13			
		11 コウロエンカワヒバリガイ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●				13			
		12 マガキ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	19			
		13 ムラサキイガイ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	11			
フジツボ類	1 アカフジツボ																									0				
	2 アメリカフジツボ		●	●				●			●						●	●	●							7				
	3 クロフジツボ	●									●	●							●	●				●		6				
	4 シロスジフジツボ								●		●	●	●				●	●	●							7				
	5 タテジマフジツボ		●	●	●			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●					14				
	6 ドロフジツボ				●	●																				4				
	7 ヨーロッパフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12				
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10				
	2 ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21				
カニ類	1 アカテガニ				●	●																			●	3				
	2 アシハラガニ				●								●		●										●	4				
	3 イソガニ	●		●			●				●	●			●	●			●	●				●	●	12				
	4 オウギガニ	●																		●	●					3				
	5 クロベンケイガニ				●																					2				
	6 ケフサイソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15				
	7 スナガニ	●									●															3				
	8 タカノケフサイソガニ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15				
	9 チチュウカイミドリガニ		●				●	●			●												●			6				
	10 ハクセンシオマネキ		●	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8				
	11 ヒライソガニ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15				
	12 ヤマトオサガニ				●	●			●				●	●											●	6				
その他	1 多毛類		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	19				
	2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	21				
		種類数(●の数)	18	23	25	17	9	17	22	15	13	28	29	19	11	23	10	19	9	18	11	6	11	15	19	42				

注: 1) ●: 種まで同定されたもの □: 種まで同定されていないもの(種数に含めない)

2) 種名は各分類群中で五十音順。

3) 地点No.3の甲子園浜海浜公園、地点No.10の近木川河口は、それぞれ2団体の調査結果を統合した。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示した。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4. 汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、ユビナガホンヤドカリは23地点中21地点で、マガキは19地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではイボニシが18地点で、河口型の生物ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが15地点で確認されました。

なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）のうち、アカフジツボを除く36種がいずれかの地点で確認されました。

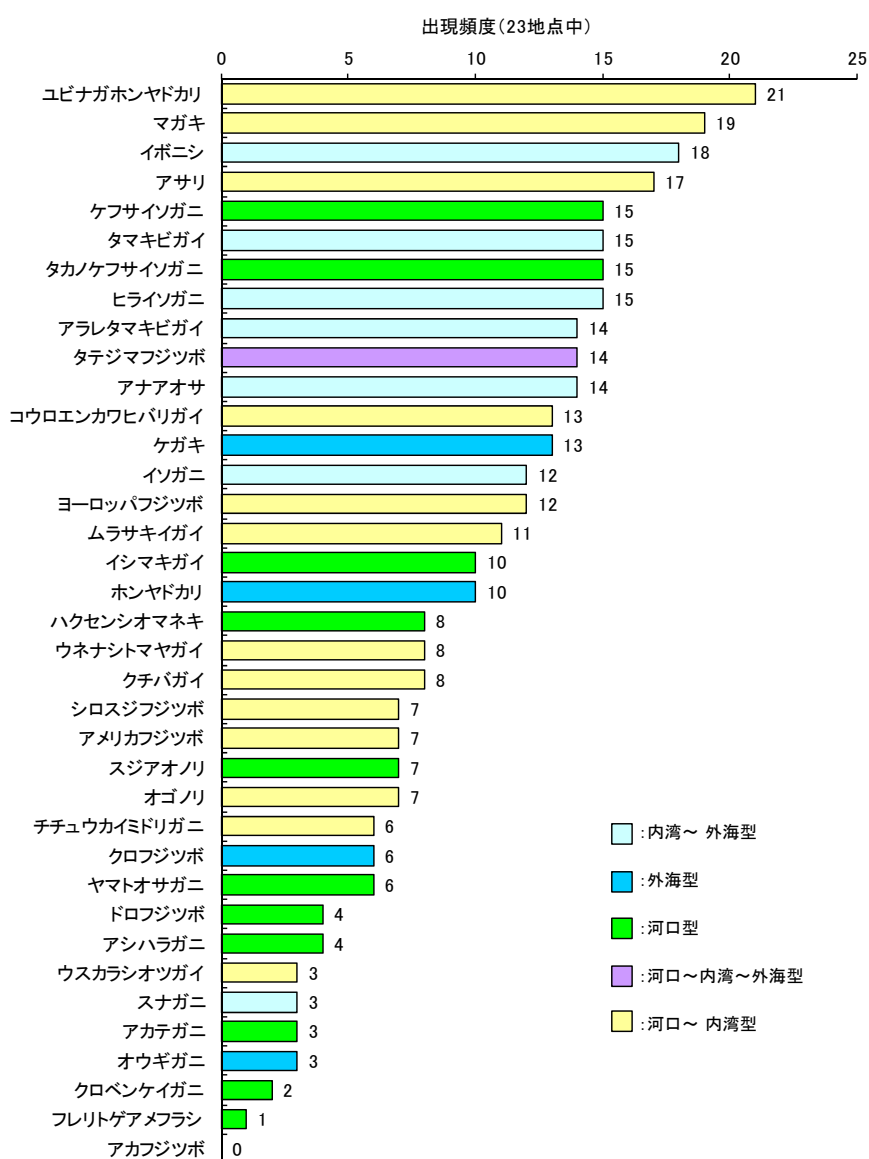


図3 リスト掲載種の生態型と出現頻度（平成27年度）

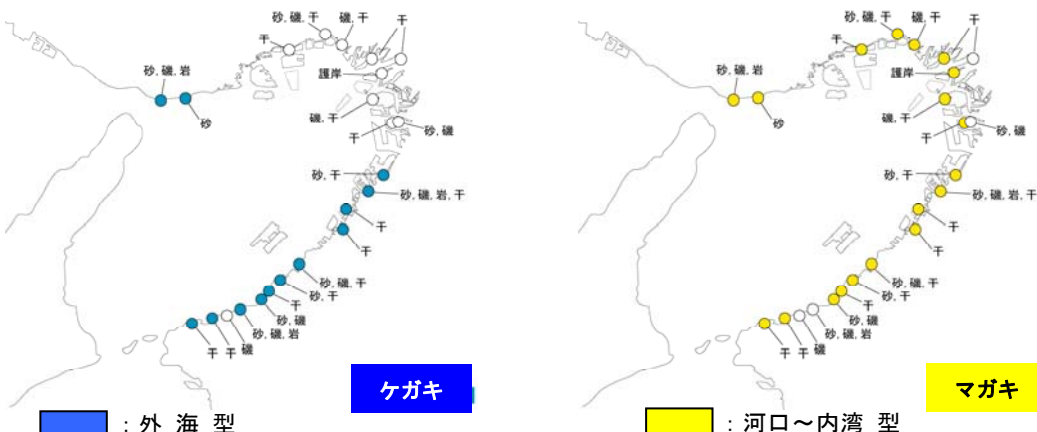
リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図 4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型であり、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年は静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、須磨一阪南2区ラインより湾口側と湾奥の野鳥園臨港緑地で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

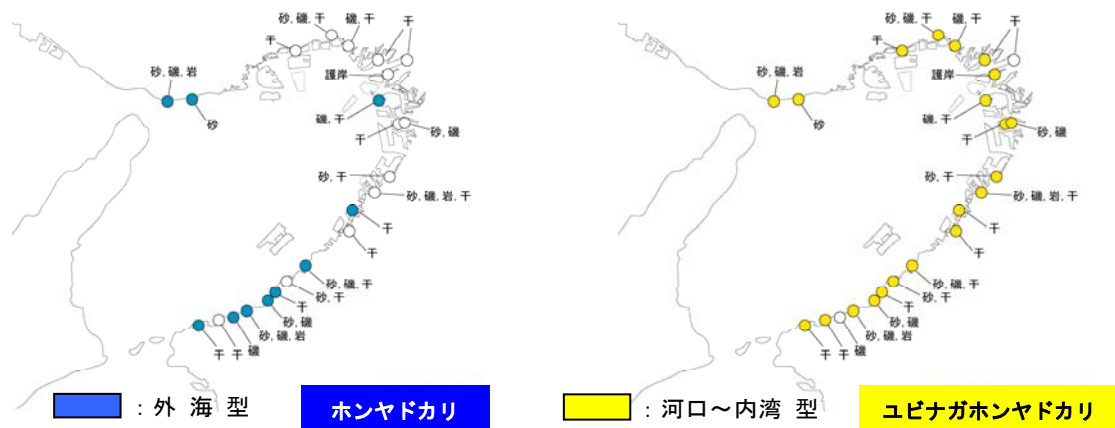


図 4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成 27 年度

フジツボ類

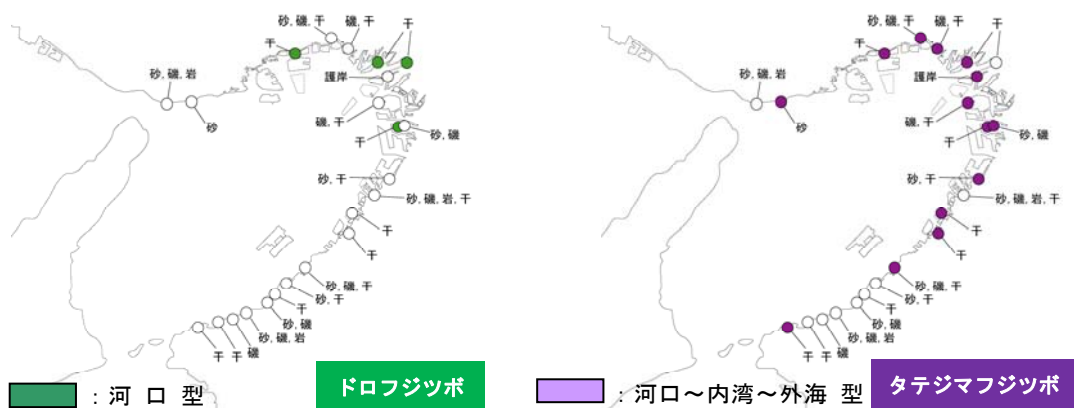
- 外海型のクロフジツボは、須磨―近木川ラインより湾口側で出現し、同型のアカフジツボは今年は確認されませんでした。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは主に湾中央域で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは湾奥～湾中間域一帯で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。

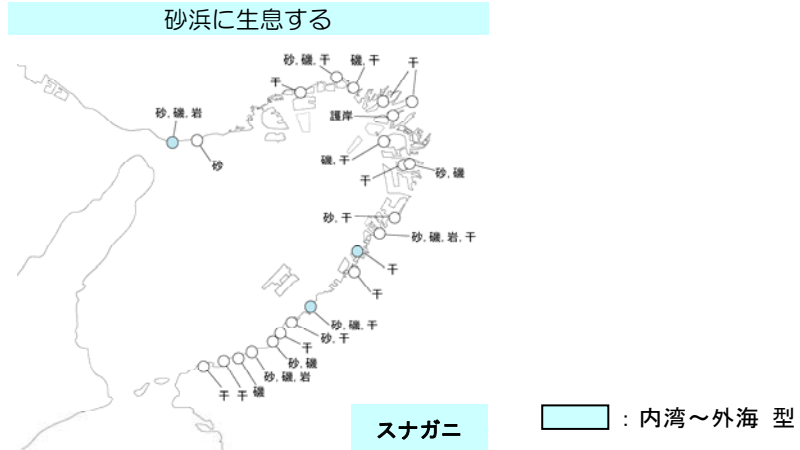


- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）－平成27年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニが確認されたのは、兵庫県側の1地点と大阪府側の2地点の計3地点でした。



- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは矢倉干潟・十三干潟・大津川・男里川・東川などの河口泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。



- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。



図4(3) 代表的な種の分布(カニ類)ー平成27年度

外来種

- ミドリイガイは本年は確認されませんでした。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいので、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。

■ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾奥の地点で出現しました。

■ : 河口～内湾 型

■ : 河口～内湾 型

■ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシは本年は確認されませんでした。ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。カニヤドリカンザシゴカイは確認されませんでした。

■ : 河口型

■ : 河口型

■ : 河口～内湾 型

■ : 河口～内湾 型

- これら外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種) - 平成27年度

3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成 20～27 年度調査結果と併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度のリスト掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、8 ヶ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。

付表(1) 貴重種の出現状況一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1	スジアオリ						
		2	タニコケモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧			
	紅藻類	3	ホソヤギマ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			
海草類	1	アマモ		アマモ場(生態系)-A		減少傾向			
植物 (調査シート記載種のみ)	1	コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類					
	2	ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類					
	3	ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類					
貝類	巻き貝類	1	アカニシ			減少	危険		
		2	アダムスタマガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	危険	準絶滅危惧	
		3	イシマキガイ				減少		
		4	イナザワハベガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		5	イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前(危険)	絶滅危惧Ⅱ類
		6	ウスコミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		7	ウミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧
		8	エドガワミズゴマツボ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		9	カキウラクチキレモドキ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類			危険	
		10	カワザンショウガイ		準絶滅危惧				
		11	クサズリクチキレガイ		準絶滅危惧				
		12	クチキレガイ		情報不足				
		13	クリイロカワザンショウ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧
		14	クリイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		15	クロミドリガイ					危険	
		16	サツマクリイロカワザンショウ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		17	シラギウガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		18	スオウクチキレガイ			準絶滅危惧			準絶滅危惧
		19	タケノコカワニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	準絶滅危惧
		20	ヒナユキスズメ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		21	ヒモイカリナマコツマミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		危険	絶滅危惧Ⅱ類
		22	フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		23	ホソウミナ		絶滅危惧Ⅰ類				
		24	マルウスズタマキビガイ					危険	
		25	ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		26	ヨコイトカケギ		情報不足			危険	
		27	ヨコスジギ		準絶滅危惧				
貝類	二枚貝類	1	イワガキ			減少傾向			
		2	ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧	危険		
		3	オウギウロコガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		絶滅危惧Ⅰ類		現状不明	絶滅危惧ⅠB類
		4	オハグロガキ属		準絶滅危惧				
		5	カガミガイ		準絶滅危惧				
		6	クチバガイ			準絶滅危惧			
		7	ソトオリガイ		準絶滅危惧			危険	
		8	ナミガイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		9	ニッポンマアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧
		10	ハカガイ		準絶滅危惧				
		11	ヒメアサリ		準絶滅危惧				
		12	ヒメカノアサリ		準絶滅危惧				
		13	マツカゼガイ		準絶滅危惧				
		14	マテガイ	要注目	準絶滅危惧				LP(沖縄島)
		15	ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧
		16	ユウシヨガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
多毛類	1	カワゴカイ属	(準絶滅危惧)						
	2	コケゴカイ	(準絶滅危惧)						
	3	スゴカイイソメ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類					
	4	スナイソゴカイ	要調査						
	5	タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	6	マキントシチロリ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
ヨコエビ・ワレカラ類	1	オオサカドロソコエビ		絶滅危惧Ⅰ類			準絶滅危惧		
ヤドカリ類	1	テナガツノヤドカリ					準絶滅危惧		
	2	ヨモギホンヤドカリ					準絶滅危惧		
カニ類	1	アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)					LP(東北地方)	
	2	アシハラガニ	(準絶滅危惧)					LP(陸奥湾)	
	3	オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	4	カネコブシ		準絶滅危惧	情報不足				
	5	クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)						
	6	コメツキガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	7	シオマネキ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	8	スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
	9	スネナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧	
	10	テゴイワガニ		準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	11	ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	
	12	ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)					準絶滅危惧	
	13	ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	14	フジテガニ		準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	15	フタバカクガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	16	マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	17	モクスガニ				減少傾向			
	18	ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)					LP(種子島)	

付表(2) 貴重種の出現状況一覧(平成27年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)
魚類	1	アユ		準絶滅危惧				
	2	イダテンギンボ	(絶滅危惧Ⅰ類)					
	3	チチブ	要調査					
	4	トビハゼ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	減少		
	5	ニホンウナギ*1)		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠB類			
	6	ヒモハゼ			準絶滅危惧			
その他	腕足類	1	シヤミセンガイ属	(絶滅危惧Ⅰ類)				
	頭足類	2	ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類	減少		
	ホシムシ類	3	スジホシムシ	要調査			普通/希少	準絶滅危惧
		4	スジホシムシモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧		普通/希少	準絶滅危惧
	等脚類	5	ヨツバコツツムシ		準絶滅危惧			
	エビ類	6	ウリタエビジャコ	(絶滅危惧Ⅱ類)*2)				
		7	エビジャコ属	(絶滅危惧Ⅱ類)				
		8	クルマエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			
		9	テッポウエビ	(準絶滅危惧)				
	アナジャコ類	10	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類			
		11	ハサミシャコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			
		12	ハルマシナモグリ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類			
		13	ヨコヤアナジャコ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			
	ウニ類	14	ハスノハカシバン	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			
	ナマコ類	15	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧		危険	
	ナメクジウオ類	16	ヒガシナメクジウオ	(絶滅危惧Ⅱ類)		危急*3)	危険*3)	準絶滅危惧

注)

1) 兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群落)と兵庫県版レッドデータブック2003(魚類)による。
()は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリに置換したものの。

2) 大阪府レッドリスト2014による。

3) 環境省 2012年度版レッドリスト

4) 水産庁.1998.日本の希少な野生水生生物に関するデータブック社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.

5) WWF Japan Science Reprint vol.3,1996.

評価「普通」は省略した。

6) 日本ベントス学会編 2012.干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック-.東海大学出版会.神奈川県.285pp.

7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

8) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧Ⅰ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧Ⅱ類:現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足:評価するだけの情報が不足している種。

要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫):改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。

要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁):明らかに減少しているもの。

希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF):絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF):特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

普通/希少(WWF):地域により状況が異なる。

9) 表中網掛けは、今年度初確認の貴重種を示す。

10) 貴重種記載資料の該当府県の場所で出現していない場合もある。

■平成27年度初確認の貴重種(表中網掛け)

ウスコミミガイ:巻貝類

エドガワミズゴマツボ:巻貝類

クロミドリガイ:巻貝類

タケノコカワニナ:巻貝類

オウギウロコガイ:二枚貝類

オハグロガキ属:二枚貝類

ナミガイ:二枚貝類

ヒメカノアサリ:二枚貝類

チゴイワガニ:カニ類

フジテガニ:カニ類

ヒモハゼ:魚類

スジホシムシ:ホシムシ類

スジホシムシモドキ:ホシムシ類

クルマエビ:エビ類

*1)環境省2012、大阪府2014リストともニホンウナギで有効。

*2) エビジャコ属で記載されている。「エビジャコ属」と重複するがいずれも貴重種としてカウントした。

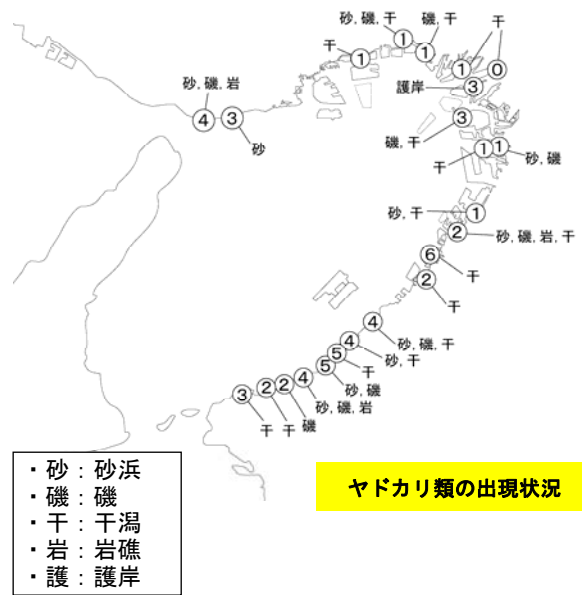
*3) ナメクジウオで記載されている。

調査テーマ「ヤドカリ」の結果

ヤドカリ類の出現種数を図5に示します。十三干潟（淀川）の1地点を除く22地点でヤドカリ類が確認されました。貝の殻を利用するヤドカリ型は全体で9種類出現し、阪南二区造成干潟が6種類と最も多く、尾崎海岸と波有手海岸で5種類が確認されました。

生息場所が河口～内湾型のユビナガホンヤドカリとヨモギホンヤドカリ及び、外海型のホンヤドカリの確認状況を図6に示します。

ユビナガホンヤドカリは23地点中21地点、ヨモギホンヤドカリは1地点（せんなん里海公園）でのみ確認されました。一方ホンヤドカリは須磨海岸と阪南二区造成干潟を結ぶ湾口側と、湾奥ですが岸線より離れた埋立地の海側に位置する野島園臨港緑地の10地点で確認されました。



注) 1. ここでは貝殻に入っているもののみをヤドカリ類とした。
2. ○印の中の数字は、確認したヤドカリの種数である。

図5 ヤドカリ類の出現状況（平成27年度）

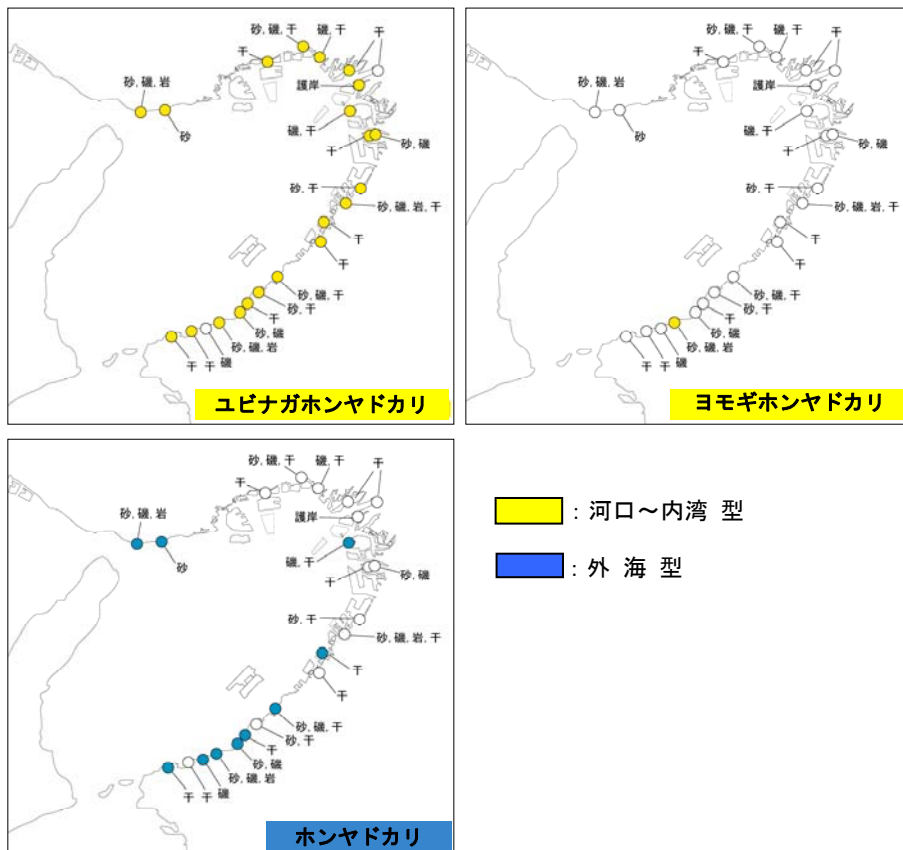


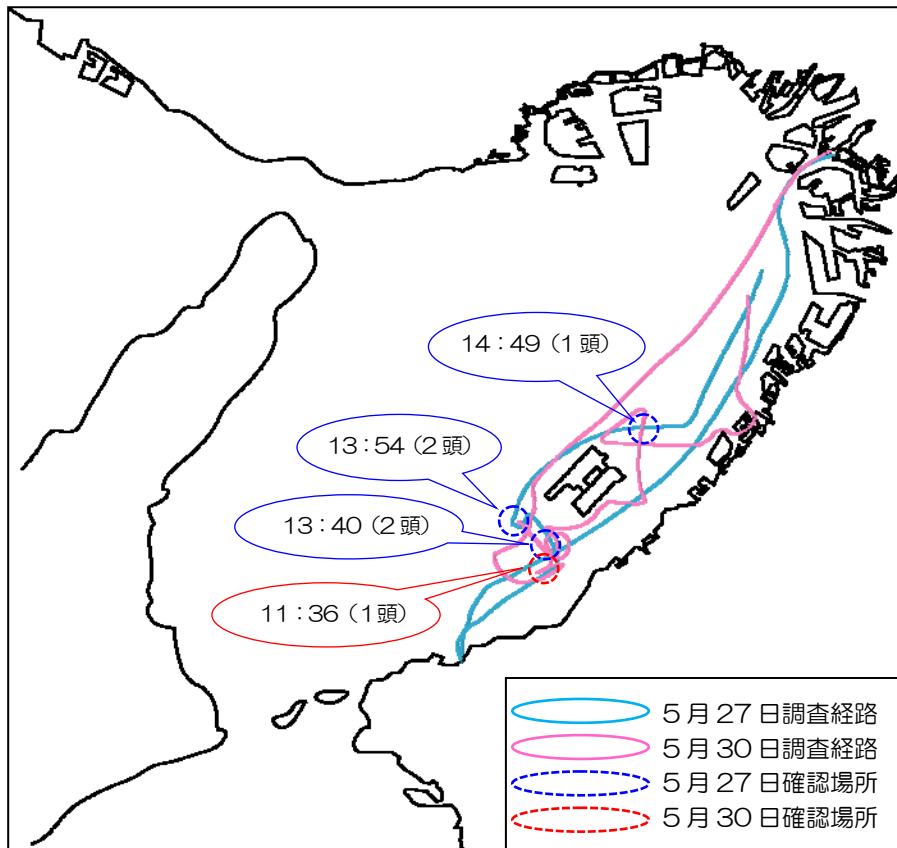
図6 ホンヤドカリ類の出現状況（平成27年度）

スナメリ調査

5月27日及び30日に下図の経路で調査を実施しました。

5月27日の調査ではおおよそ阪南市沖から岸和田市沖にかけて3群5頭、5月30日の調査では阪南市沖で1頭を確認しました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする事がなくなりました。

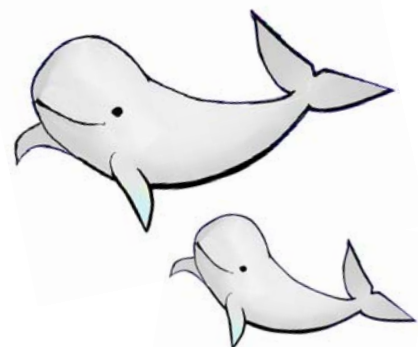


【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ

【変更履歴】

- 2026.3 P02 コメントの変更
- 2026.3 P16 付表（1）の差し替え
- 2026.3 P17 付表（2）の差し替え